

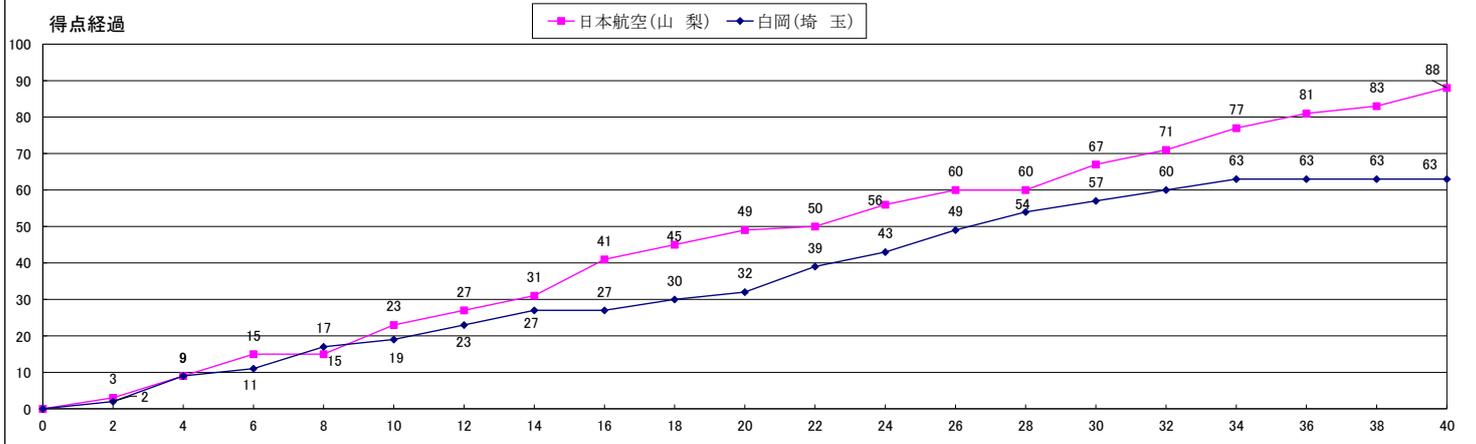
試合No.	C1	大会名	令和4年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第76回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会										
		期 日	令和4年6月4日(土)				会 場		小田原アリーナ				
男子1回戦	CC	管 祐介			U1		本間 竜也		U2		北澤 良太		
		チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	延長	延長	合 計
		白岡(埼 玉)					19	13	25	6			63
		日本航空(山 梨)					23	26	18	21			88

白岡(埼玉)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
石塚 愛都(CAP)	4																	
山口 佳樹	5	0	0	2	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
松山 琉虎	* 6	2	0	2	0%	1	8	13%	0	0		0	4	3	1	1	7	1
河野 流輝	* 7	23	2	5	40%	7	15	47%	3	4	75%	1	2	0	0	0	4	1
金子 智仁	8																	
結城 天翔	* 9	26	0	1	0%	11	25	44%	4	6	67%	1	6	0	5	1	4	4
北嶋 虎仁	* 10	3	0	3	0%	1	8	13%	1	2	50%	0	5	0	3	0	1	3
根津 蓮	11																	
道満 唯斗	12																	
関根 直人	13																	
高田 矜	14																	
藤本 海誠	17	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	1	0	4
小野 麗琉	* 18	5	0	0		2	2	100%	1	2	50%	0	1	0	1	0	4	1
吉岡 優斗	22																	
結城 棕太	23	2	0	0		1	2	50%	0	0		1	0	1	0	0	0	0
コーチ 金谷 豪																		
合計		63	2	13	15%	24	61	39%	9	14	64%	3	18	4	10	3	20	14

日本航空(山 梨)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
東山 惇明	0	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	2	0	0	1	0	0
藤野 仁喜	1	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
岩下 貫太(CAP)	* 2	7	0	7	0%	3	11	27%	1	2	50%	4	5	8	3	0	3	2
溝口 琢真	* 3	10	0	0		4	4	100%	2	2	100%	0	2	0	0	0	2	2
松本 理史	6	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	1
青木 王哉	7	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
芦澤 優	8																	
上島 瑞生	* 14	10	0	0		4	8	50%	2	2	100%	1	1	1	0	0	0	2
宇藤 碧斗	15	0	0	4	0%	0	1	0%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
小池 玲央	18																	
松本 陽希	* 24	21	0	1	0%	10	13	77%	1	3	33%	3	3	0	0	0	1	2
大道 一步	30	18	0	6	0%	9	15	60%	0	0		1	0	4	1	0	0	2
渡辺 辿	* 32	8	0	1	0%	4	12	33%	0	0		1	13	0	0	0	1	2
ルハグワドルジ・ナランビレグ	35	14	0	0		6	8	75%	2	7	29%	5	12	0	0	6	2	2
酒井 基充	66																	
コーチ 嶋内 誠																		
合計		88	0	20	0%	40	72	56%	8	16	50%	15	40	13	4	7	9	15



戦評

1Q 白岡ハーフコートマンツーマンディフェンス、日本航空オールコートマンツーマンでスタート。日本航空が激しいディフェンスから相手のミス誘い、速い展開で得点を重ねていく。対する白岡は攻めあぐねるものの、1本ずつ得点を重ねる。23-19と日本航空がリードして1Qを終える。

2Q 流れを変えたい白岡はオールコートでプレッシャーをかけるが、シュートが決まらず苦しい状況が続く。日本航空は2-1-2のゾーンや、オールコートでプレッシャーをかけ、相手のミス誘い着実に得点を重ねる。何とか打開しようとする白岡だがイージーミスも重なり49-32と日本航空がリードを広げ前半を終える。

3Q 日本航空は#35を中心に攻守が展開される、白岡は#9を中心に攻撃を組み立てるがイージーミスも重なり点差が縮まらない状況が続く。両チームともシュートが決まらない我慢の時間帯が続く。白岡は#9#10の得点で徐々に点差を縮めるも67-57日本航空リードで3Qを終える。

4Q 日本航空#35の高さに白岡は苦しい状況。白岡は粘り強くディフェンスでプレッシャーかけ得点をするもターンオーバーが続き、点差が広がる苦しい展開。日本航空は終始変わらないゲーム運びで機動力と高さを生かし88-63で勝利した。